

【情報】

～ClassPad.net の各種ふせん・授業支援機能を活用する～

効果的なプレゼンテーションを学ぶ授業

自分の好きなものをプレゼンテーションすることで、効果的なプレゼンテーションの方法を学ぶ。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：プレゼンテーションに関する基礎的な知識や方法を学習させる。

生徒向けの目標：プレゼンテーションを通して、人に何かを訴えるときの効果的な方法や技術を主体的に学習する。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・**板書時間削減** : 必要な情報はすべて、事前に作成しておいたテキストふせん・ファイルふせんを投影するだけで済む。
- ・**生徒の集中力アップ** : 普段使用しているツールでプレゼンテーションを行うため、操作方法が分かりやすく、集中して取り組みやすい。
- ・**協働学習促進** : 授業支援機能によってクラスメイトが作成したスライドを見ることで、他の人がどのような工夫をしているのかを知ることができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【概要】

- ・相手に自分の意見やアイデアを伝え
るときに使える、効果的なプレゼン
テーションの方法について学ぼう。
- ・自分が最近ハマっていることについ
て、簡単なプレゼンテーションをしてみよう。

概要の説明

今回の授業では、プレゼンテーションについて学ぶことを説明する。授業の最後に、自分の好きなものについて簡単なスライドを作成することを説明する。

step2

【前提】

プレゼンテーションとは、自分の意見やアイデアを、相手に分かりやすく伝えるための方法である。
プレゼンテーションで使う1枚1枚の資料を**スライド**という。
 ClassPad.netのふせんもスライドと言える！

重要事項の解説①

プレゼンテーション、スライドという語句について説明する。ClassPad.net で使
用している各種ふせんも、使い方によつてはスライドの一種になることも説明す
る。

それぞれの語句の定義に関する説明
が書かれたテキストふせんを用意
し、電子黒板やプロジェクターに投
影しながら説明する。

step3

【スライドの構成】

頭括式（演繹型）… 先に結論を伝える
尾括式（帰納型）… 先に理由を伝える

時間がなく、すぐに結論を伝えたいときは頭括式、理由を説明する時間が十分にあるときは尾括式を使うと良い。

重要事項の解説②

スライドの構成についての説明を行う。論理展開に関して、頭括式（演繹型）と尾括式（帰納型）を紹介し、それぞれをどのような場面で使うべきか例示する。双括式やPREP法の説明も行う。

それぞれの語句の定義に関する説明が書かれたテキストふせんを用意し、電子黒板やプロジェクターに投影しながら説明する。具体例もテキストふせんで示し、そこに手書き機能を用いて書き込みながら、どこが結論部分でどこが理由部分かなどを示す。

step4

【見やすいスライド】

- 文字の大きさや位置を揃える
文字は適切なサイズにし、ほどよい余白が生まれるようにしよう。また、水平、垂直方向の位置が揃うようにしよう。
- 色を使いすぎない
ベースとなる色は1~2色にしよう。
- 適宜イラストなどを使う
注目して欲しい部分にはイラストを挿入しよう。

重要事項の解説③

見やすいスライドと見にくいスライドを提示して、その違いや、どうすれば見やすくなるかについて手短に議論させ、意見を募る。次に、スライドの見やすさについての説明を行う。文字のフォントや大きさ、文字の量、使用する色の数などに関する注意を説明する。

見やすいスライドと見にくいスライドをあらかじめファイルふせんで用意し、それを提示して生徒に議論させる。このファイルふせんは授業支援機能を使って配布し、生徒が手元で確認できるようにしてもよい。その後、出てきた意見を踏まえながら、テキストふせんを用いて見やすいスライドを作る際の注意点を説明する。

step5

【発表の際の注意点】

- 聞き手の方を見る
- スライドの音読にならないよう注意する
- 大きな声でゆっくり話す
- 腕を張って掌々と立つ
- 身振り手振りを行う交える

上の事柄に注意して発表すれば、プレゼンテーションの説得力が増す！

重要事項の解説④

発表の際の注意点を説明する。身振り手振りや視線、話し方に関する説明を行う。実際に教師が複数の発表の仕方を演じて、どう感じるかを生徒に答えてもらってもよい。

テキストふせんを用いて発表の際の注意点を説明する。

step6

✓やってみよう

実際にプレゼンテーションを行ってみよう。

まずはClassPad.netの各種ふせんを使って、「最近ハマっていること」を紹介する2~3枚のスライドを作成しよう。

実習の説明

これまで学んだプレゼンテーションに関する知識を踏まえて、実際にプレゼンテーションで使うスライドを作成することを説明する。自分の好きなものについてのプレゼンテーションを行うということも、改めて説明する。

生徒にスライド用の新規デジタルノートを作成させ、そこに各種ふせんを用いてスライドを作成させる。作成がスムーズに進むよう、各種ふせんの使い方をあらかじめ生徒と確認しておいたり、教員が机間指導でアドバイスしたりする。

step7

皆さんには読書は好きですか？

日本では毎年7万冊もの本が発行されています。

小説、ビジネス書、漫画、雑誌、などなど……

今回は、私が好きな古本について紹介します！

古本とは？→一度誰かが買って再び売られた本

発表

授業時間内にスライド作成が終わった生徒がいた場合は、実際にプレゼンテーションをしてもらう。

授業時間内に作成完了した生徒がない場合は、教員がプレゼンテーションを行って例を見せ、プレゼンテーションに使用したデジタルノートを生徒に共有する。

次回授業時に生徒による発表をやってもらったら、終了後に完成版のデジタルノートを PDF 化させた上で課題として回収し、良いスライドを他の生徒にも共有する。

step8

【まとめ】

効果的なプレゼンテーションを行うためには、スライドの構成、見やすさ、発表の仕方に注意する必要がある。

【宿題】

スライド作りを次回授業までに終わらせましょう。

まとめ・宿題

授業内で扱ったプレゼンテーションに関する知識をおさらいする。

宿題は、授業内で取り組んだスライド作りの完成とする。

ここまでに使用したテキストふせんやファイルふせんを使いながら、授業の振り返りを行う。

step9

参考

世界的有名な人のプレゼンテーションは、TED Talksで見ることができる。自分のプレゼンテーションとの違いを考えてみよう。

参考・補足

プレゼンテーションの見本として、TED Talksを紹介する。時間があれば、実際に TED Talks を視聴して、授業内で学んだ知識のおさらいをしたり、自分のプレゼンテーションとどこがどう違うかを考えさせたりしてもよい。

「TEDx talks in Japanese」という YouTube 動画の再生リストの URL (<https://www.youtube.com/playlist?list=PLsRN0Ux8w3rOHjXIU5EE4KOiIagv9yQaG>) を貼り付けたりスクふせんを、授業支援機を用いて生徒に配布する。時間があれば、電子黒板やプロジェクターに投影しながら一緒に視聴する。